



2027年度海外研究者招へい事業 (STeP JAPAN)

－公募説明－

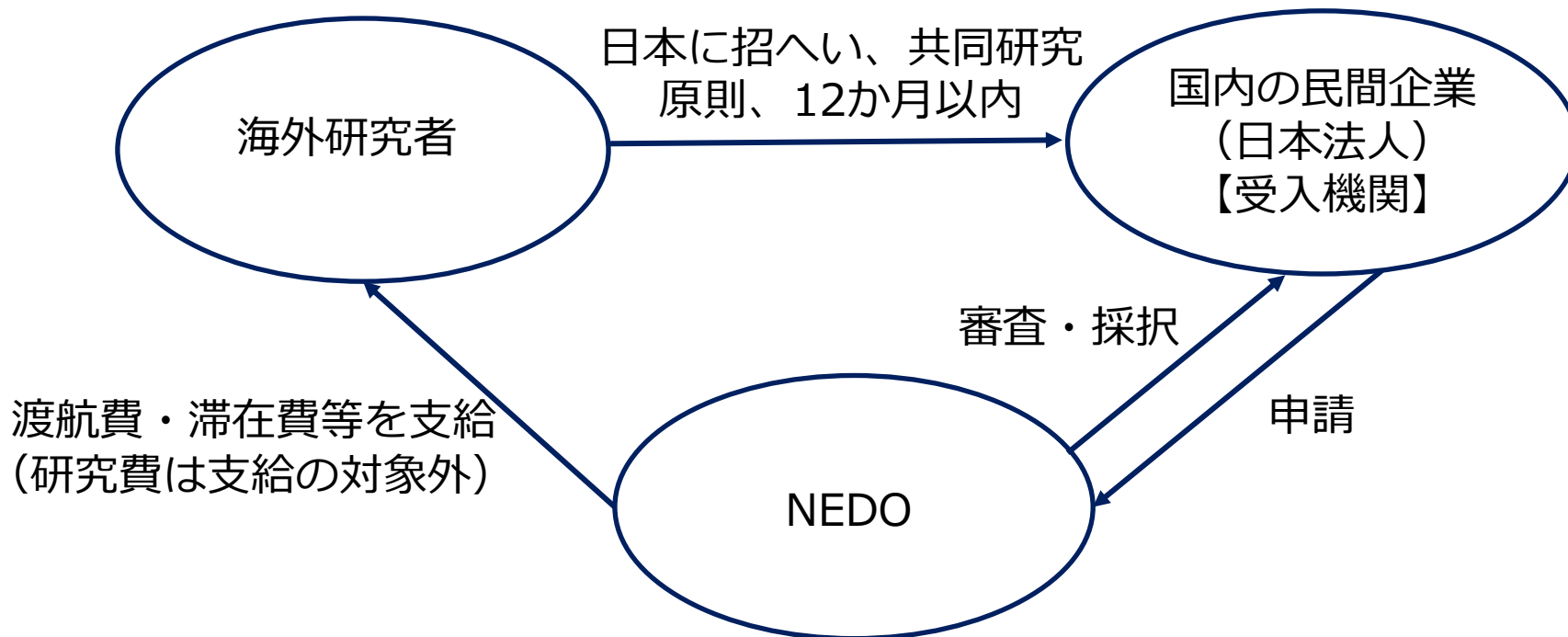
2026年7月

**国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
スタートアップ支援部**

1. 事業概要
2. 応募要件
3. 支給内容
4. 招へいまでの流れ
5. 応募方法
6. 選考と通知、留意事項
7. 公募に関する問い合わせ

目的

日本国内において民間が実施する鉱工業基盤技術の研究を支援すること、また、当該分野における国際研究協力を積極的に推進し、世界の科学技術の進歩及び経済の発展に寄与すること。



1. 事業概要 招へい実績

- 2001年度以降、36件の海外研究者を招へい。

年度	招へい研究者	所属機関	受入機関	研究テーマ	招へい 日数
2026	エリラン トーカー (イスラエル)	アリエル大学	MediScan株式会社	呼気に含まれるVOCs（揮発性有機化合物）をAIプログラムを組み込んだソフトウェアにより高度に解析することで、乳がんを早期に検出するSaMD（医療機器プログラム）研究開発	300
2025	タチアナ デドヴァ (エストニア)	タリン工科大学	株式会社SPD研究所	紫外-近赤外対応新規p-i-n積層型光検出素子の開発と応用	365
2023	エディリシンハゲ ヴィクム アヌラ プレマラル (スリランカ)	スリ ジャイエワデー ネプラ大学	株式会社SPD研究所	低コストペロブスカイト太陽電池製造に向けた p 型一体化カーボンペーストの開発	150
2022	ウラジミール・クル ロフ (ロシア)	固相物理ロシア科学 協会	株式会社C&A	3次元形状制御した高品質シンセティックコランダム結晶の育成手法の実用化開発	80
	ジータ・サラジコバ (チェコ)	中央ヨーロッパ工科 大学 バーリ・アル ド・モロ大学	株式会社Smart Laser & Plasma Systems	レーザー誘起ブレイクダウン分光法を用いた元素組成リアルタイム分析に関する研究	61
	ラシッド・ムカデム (ドイツ)	クラウスタール工科 大学 非金属材料研 究所	日本電気硝子株式会 社	酸化物ガラス融液における不均質結晶核生成の研究	180
2020	デン・ショウ (中 国)	浙江大学 生物医学工 程・儀器科学学院	富士電機株式会社	A I による商品認識技術・アプリケーションの研究開発	360

項目	内容
提案者（受入機関）の要件	鈇工業基盤技術に関する試験研究を共同して行うために海外研究者の受け入れを希望する国内の民間企業* * 国、地方公共団体、独立行政法人、特殊法人、特別認可法人、公設試験研究機関及び大学等学術研究機関以外の者
招へい研究者の要件	● 受入機関において、一定期間（原則12か月以内）研究することが可能である者 ● 鈇工業基盤技術に関し、優れた見識を有する者であって、博士号に相当する学位を有する者、又はこれと同等の研究能力を有すると認められる者（大学教授、又はそれに準ずる職位にある研究者、専門知識を有する者など） ● 招へい研究者の所属機関が、招へい研究者が来日できる旨の確約書を提出できること
招へい規模	1機関1名につき原則12か月以内。※年度をまたぐことも可
招へい研究者の成果物	研究報告書（概要、本文）を作成、受入機関に提出いただきます。
受入機関の成果物	研究成果報告書（概要、本文）を作成、NEDOに提出いただきます。

3. 支給内容

項目	支給額・内容
渡航費	日本への往復航空運賃、最寄りの国際空港から受入機関までの往復交通費
支度料	12.4万円
滞在費	クラスA: 2.2万円/日、クラスB: 1.7万円/日
保険料	招へい期間中の保険費用
国内出張旅費	実費支給（上限）クラスA: 30万円/年、クラスB: 25万円/年 但し、滞在日数が180日未満の場合は、クラスA: 20万円/年、クラスB: 15万円/年

クラスA: 優れた研究業績を有する研究者、又は高度な専門的知識を有する者
(たとえば大学教授、又はそれに準ずる職位にある研究者など)

クラスB: クラスA以外の研究者、又は相応な専門的知識を有する者

※審査委員会で研究者のクラスを認定し、そのクラスに応じて支給額の区分は決まります。詳細については、公募要領をご参照ください。

4. 招へいまでの流れ

①書類の提出（2026年10月8日正午〆切）（事業者）



②外部有識者による審査委員会（1月）（NEDO）



③助成先の決定、通知（2月）（NEDO）



④招へい手続き（3月）（事業者、NEDO）



⑤招へい開始（2027年4月以降）

5. 応募方法

(1) 提出書類

- ・公募HPから（別添）2027年度提案様式をダウンロードして作成してください。
https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100537.html
- ・日本語で作成し、PDF形式にしてください。

No	提出書類
1	（様式1）海外招へい研究者受入提案書
2	（様式2）海外招へい研究者受入希望説明書
3	（様式3）招へい研究者調書
4	招へい研究者に関連する論文のコピー（10枚程度まで）
5	（様式4）受入機関（民間企業）の概要
6	確約書（現在の招へい者所属機関名で作成、様式自由。採択された場合、招へい研究者が来日し共同研究できることを確約するもの）
7	会社案内等
8	決算書類（直近3年）

(2) 提出先 Jグランツからご提出ください

<https://www.jgrants-portal.go.jp/subsidy/a0WJ200000CDao0MAD?wfid=a0XJ20000077iCyMAI>

6. 選考と通知、留意事項

1. 選考

NEDOが設置する外部有識者から構成される審査委員会で選考します

2. 審査基準

- ①招へい研究者の適格性
当該分野の見識、学位、研究能力
- ②受入機関の適格性
民間企業、共同での研究実施、研究者の受入体制
- ③研究内容の評価指針
基盤技術強化への貢献度、成果活用の方向性

3. 選考結果の通知

選考結果は文書にて提案者に通知します。2027年2月中旬を予定しています。

4. 留意事項

公募要領に下記の留意事項を記載していますので、ご確認の上、ご応募ください

- ①不正行為への対応
- ②安全保障貿易管理（海外への技術漏洩）
- ③個人情報等の取り扱い
- ④特許出願の非公開に関する制度
- ⑤招へいの成果に関わるお願い

7. 公募に関する問い合わせ

本公募に関するお問い合わせは、2026年10月8日（木）まで、電子メールで受け付けます。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
スタートアップ支援部 STeP JAPAN 事務局
メールアドレス : STeP_JAPAN@ml.nedo.go.jp

提出書類の提出期限（公募締切）

2026年10月8日（木）正午（日本時間）アップロード完了

※Jグランツ上の申請は提出期限を厳守してください。提出期限を過ぎた提案は受け付けません。

※他の提出方法（持参、郵送、FAX又はE-mail等）による提出は、原則受け付けません。

※応募者の責に依らないやむを得ない理由等（例：組織形態上、GビズIDの取得がそもそも不可でJグランツが利用できない、GビズIDやJグランツ等の外部システムのメンテナンスや障害発生等のシステム運営側の事情により申請ができない等）により、**提出期限までにJグランツ上の申請処理が困難な場合には、提出期限前までに必ずNEDO担当者まで連絡し、NEDO担当者の指示に従ってください。**